

地球の
「いきいき」の
ために

空容器の問題解決に取り組みます。

環境配慮型商品の開発や次世代を担う子どもたちへの啓発活動など、空容器の問題解決に幅広く取り組んでいます。

環境配慮型商品の開発：4Rの推進

宝酒造では、焼酎や清酒、チューハイ、本みりんなどを製造し、ガラスびんやペットボトル、アルミ缶、紙パックなど様々な容器に充填して販売しています。ところが、これらの商品を販売し中身が消費された後に発生する空容器は、社会に大きな環境負荷を与えています。

このため、当社ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース(Reduce:減量化)、リユース(Reuse:再使用)、リサイクル(Recycle:再資源化)の3Rにリフューズ(Refuse:発生回避)を加えた4Rの取り組みを進めています。

リフューズとは、余分な物は買わずに必要な物だけを

買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、余分な容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

3R+R
Reduce (減量化)
Reuse (再使用)
Recycle (再資源化)
Refuse (発生回避)



F: 環境配慮型製品 8: 720mlリターナブルびんの推移

伏見・灘地区の酒パック循環型リサイクルシステムに参画

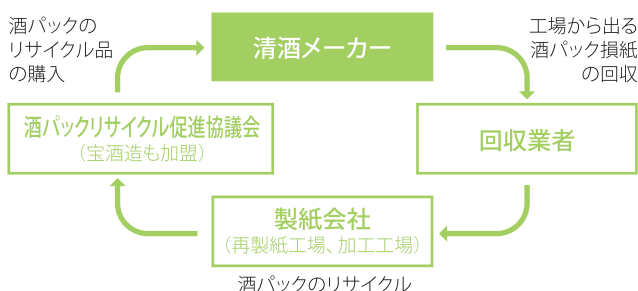
回収拠点の不足やリサイクルの難しさなどの理由から、酒パック容器のリサイクルはほとんど進んでいません。このため、酒パックリサイクル促進協議会に参加し、酒パックのリサイクル推進に努めています。その活動の一環として、酒パック循環型リサイクルシステムに参画しています。

このリサイクルシステムは、伏見及び灘地区の清酒メーカーが協力、今まで各社各様に処理していた製造工程で発生する酒パックの損紙を、清酒メーカーが集積している利点を活かして効率よく共同回収し再製紙化するものです。さらに、このシステムに参加する各社は、排出した酒パックから生まれたリサイクル品を積極的に使用することにも努めています。



ポスターや小物などに酒パックのリサイクル品を多数使用した「エコプロダクツ2009」の宝酒造ブース

●伏見・灘地区酒パック循環型リサイクルシステムの概要



環境配慮型商品の開発

宝酒造では、ISO14001の目標に「環境配慮型商品の開発」を掲げ、毎年2件以上の商品改良や開発を行うことを目標として活動しています。

9: 環境に配慮した商品開発のための指針

10: グリーン調達・4Rガイドライン

●2009年度環境配慮型商品開発・改良事例

- ・上撰松竹梅及び佳撰松竹梅: 200mlびんカップ軽量化びん採用
- ・上撰松竹梅: 300ml軽量化びん採用
- ・宝焼酎: 2ℓPET軽量化ボトル採用

業界関連団体との連携による取り組み

容器リサイクルを推進するためには、関連する業界全体で取り組まなければ解決できない問題がたくさんあります。

宝酒造では、種々の容器リサイクル団体に加入し、運営も含めた団体の活動に積極的に参加しています。リサイクル団体では、日頃は事業活動で競合しているメンバーがリサイクル推進という共通目的のために知恵を出し合い、効率的なリサイクルシステムの構築や機関紙・ホームページ・展示会などを通じた容器リサイクルの啓発活動などを行っています。

●宝酒造が加入している主なリサイクル団体

- ・ガラスびんリサイクル促進協議会
- ・PETボトルリサイクル推進協議会
- ・アルミ缶リサイクル協会
- ・紙製容器包装リサイクル推進協議会
- ・酒パックリサイクル促進協議会